

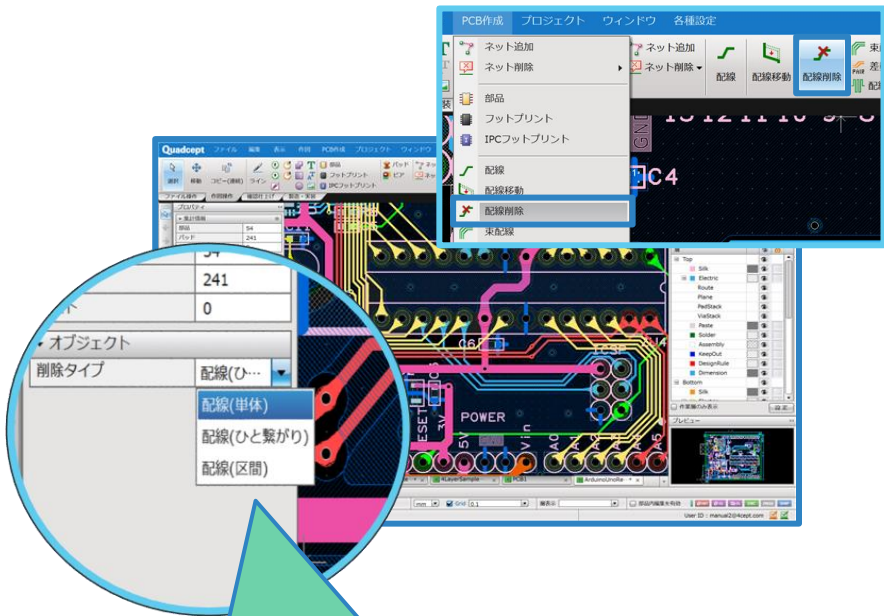
Quadcept V10.3.0 Release Notes

Release Date 2020/10/29

配線削除モードが追加されました。

- ▶ 配線、ビアの削除操作が効率よく行えるようになりました。
- ▶ 配線削除モード中に配線やビアをクリックしたり、範囲選択することで自在に削除することができます。

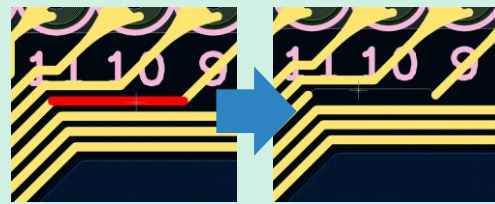
【メニュー】PCB作成→配線削除



POINT!

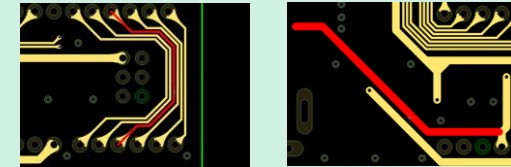
配線モードの切り替えはプロパティウィンドウ「削除タイプ」で切替できます。

単体



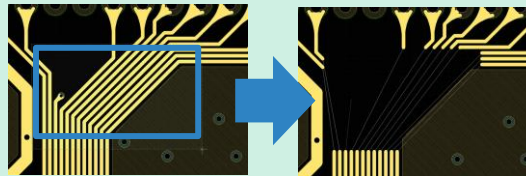
一つのオブジェクトを削除します。

ひと繋がり

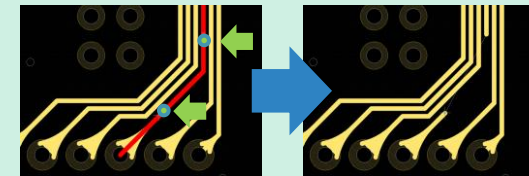


ひと繋りの配線オブジェクトを削除します。
分岐箇所、ビア、パッドまでがひと繋りです。
※配線を削除した場合、ビアは残ります。

区間



【範囲選択】
範囲を選択し範囲内の配線とビアを削除します。
※ベタは対象外です。

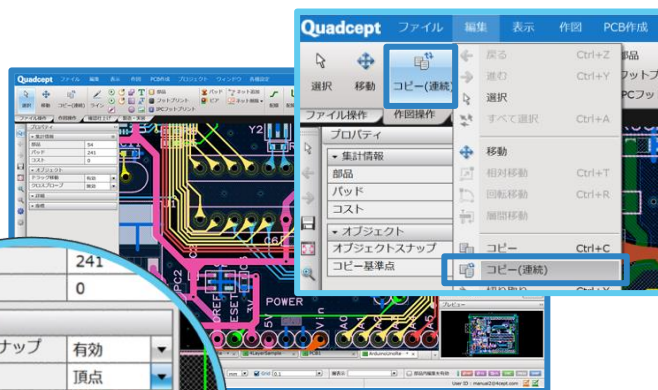


【指定間】
配線の開始位置と終了位置をクリックすることで、間の配線を削除します。

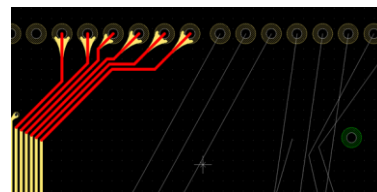
連続コピーモードが追加されました。

- ▶ 連続コピー機能により、オブジェクトのコピー、ペーストが効率よく行えるようになりました。
- ▶ あらかじめコピーする対象を選んだあと、コピー基準点をクリックし貼り付けます。
(コピーする対象の選択は範囲選択やCtrlキーやShiftキーで調整できます。)

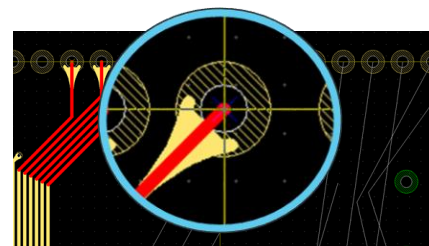
【メニュー】編集 → コピー (連続)



①範囲選択でコピーする対象を選択
(複数選択可。CtrlキーやShiftキー
で調整できます。)

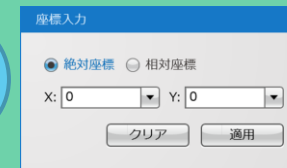


②基準点をクリック
(コピー原点座標を入力して指定することもできます。)

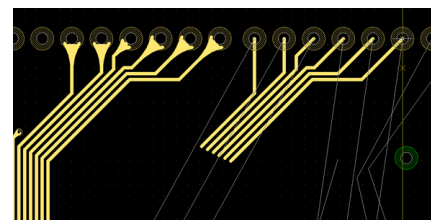


基準点や配置位置を座標指定をしたい場合は、【編集】→【座標入力】をご利用ください。

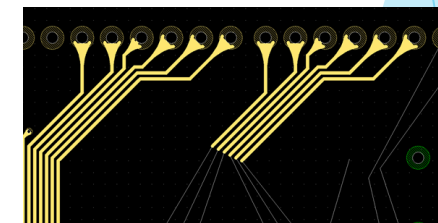
POINT!



③自動的に貼り付けモードになるのでコピー先へ移動し



④クリックで確定



※単一オブジェクトの場合、コピー基準点を選べます。

頂点 : オブジェクトの頂点を基準点にする
(ベタや領域の場合に便利です)
ポイント : クリックした位置を基準点にする
(グリッドには乗りません)
原点 : オブジェクトの中心 (原点) を
基準点にする

POINT!

連続コピーモードの切り替えはプロパティウィンドウ「オブジェクトスナップ」「コピー基準点」で切替えます。

※連続コピー中も回転、反転操作を行えます。

※貼り付け時のマウスカーソル位置はステータスバーで確認できます。

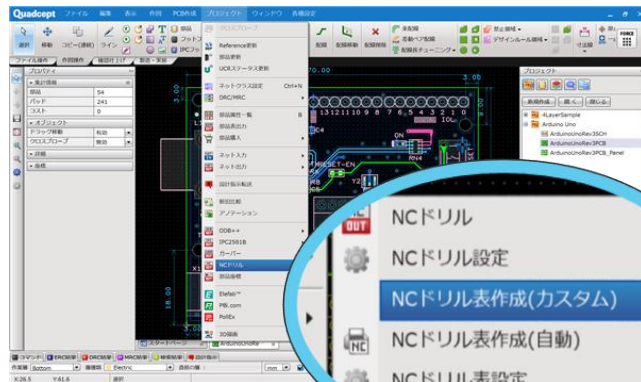
※モード中、別のオブジェクトを連続コピーする場合は、右クリック→次へを選択ください。

※単一オブジェクトコピー貼り付け中に基準点を指定したい場合は、①の後に右クリック→「ひとつ戻る」で基準点が指定できます。

NCドリル表をPCB上に作成し、自由に編集できるようになりました。

- ▶ NCドリル表をPCB上に自動作成できるようになりました。
- ▶ 作成したドリル表は寸法線追加など自由に編集することができます。
- ▶ ガーバーデータやDXFデータなどでも出力できます。

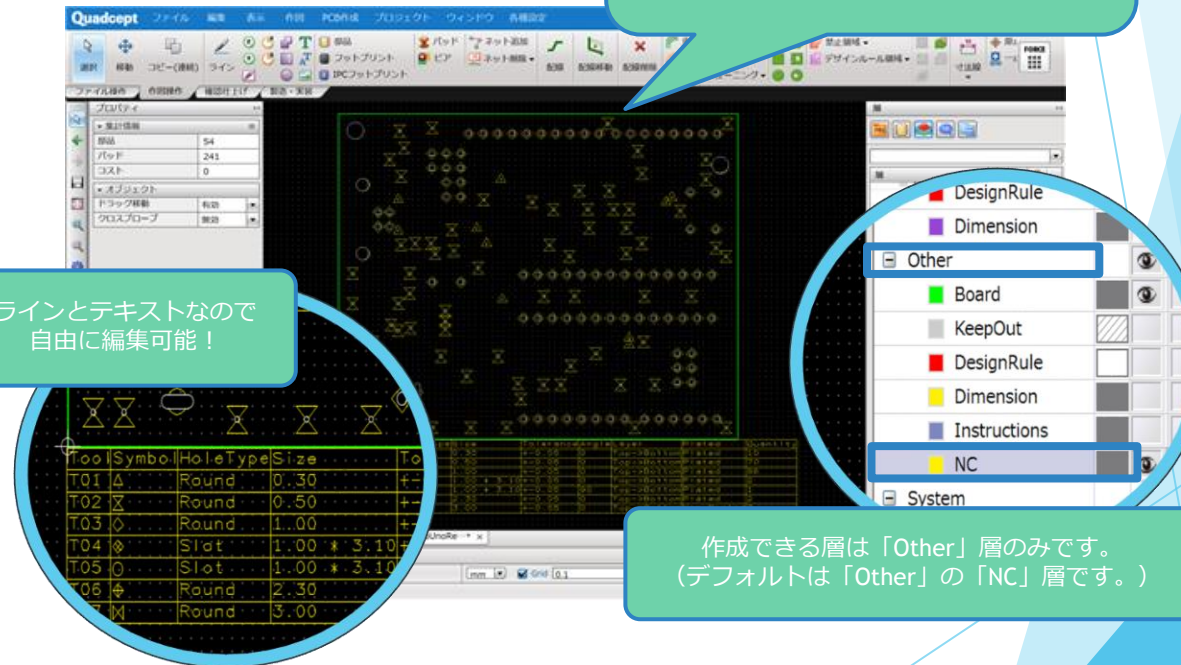
PCB設計画面にラインとテキストオブジェクトで自動作成。ガーバーデータやDXFデータとして出力できます。



【メニュー】プロジェクト → NCドリル → NCドリル表(カスタム)

ラインとテキストなので自由に編集可能！

※以前の直接NCドリル表を印刷する機能「NCドリル表印刷」は【メニュー】プロジェクト → NCドリル → NCドリル表(自動) から行えます。

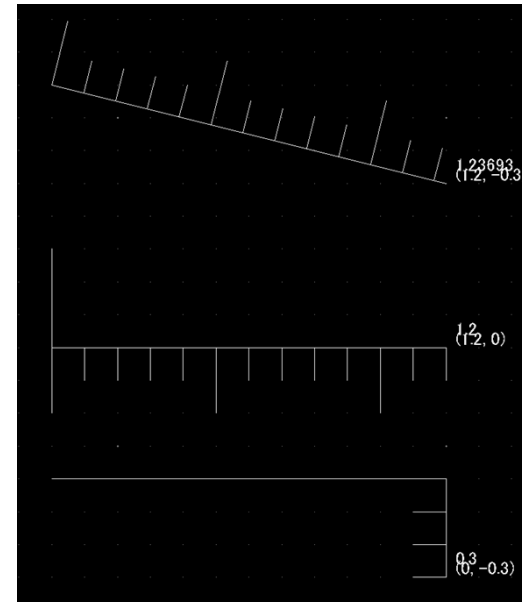
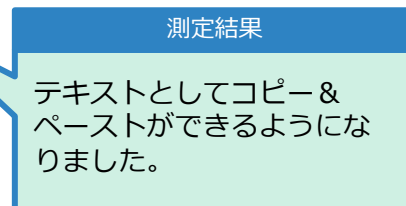
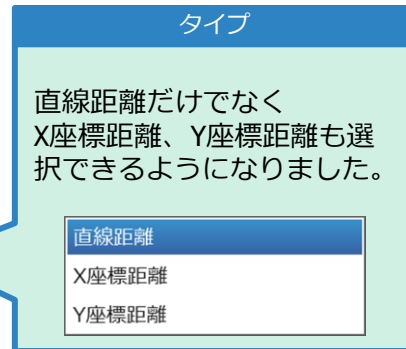
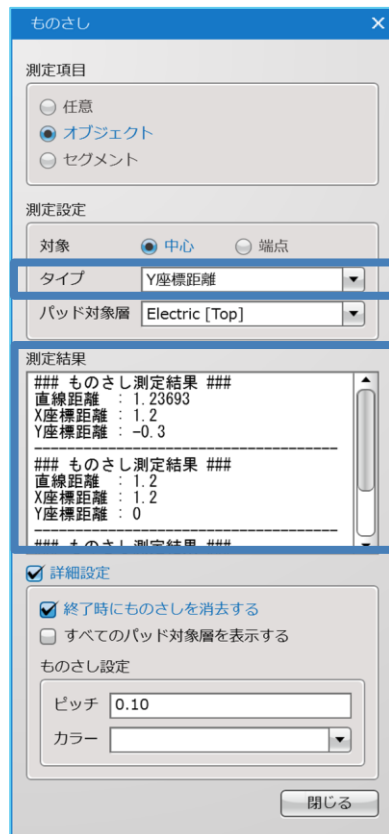


作成できる層は「Other」層のみです。(デフォルトは「Other」の「NC」層です。)

※作成層にオブジェクトが存在するときは、データを消して再作成になります。
※めっき有無で出力を分けることは出来なくなりました。

ものさし機能が X座標距離、Y座標距離に対応し使いやすくなりました。

- ▶ X座標距離（水平距離） Y座標距離（垂直距離）を選択できるようになりました。
- ▶ 測定結果をテキストとしてコピー＆ペーストできるようになりました。



直線距離

X座標距離

Y座標距離

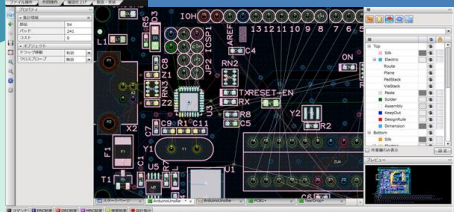
※今回のバージョンからものさしのフォントが“courier”に、初期色はピンク色 → 白色に変更になりました。
※直線距離の目盛りは上向き、X座標測定時の目盛りは下向き、Y座標測定時の目盛りは左向きになります。

自動配線（オートルータ）ツールと連携できるようになりました。

- ▶ DSNファイルにDRCルールを含めて出力できるように対応しました。
- ▶ RTEファイル（オートルータ用入力ファイル）を入力し、自動配線ツールで自動配線した配線をQuadceptの設計画面に反映できます。

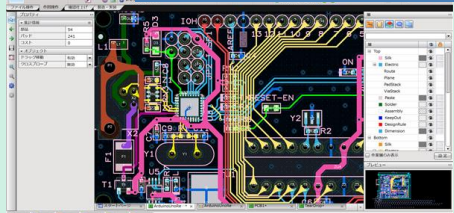
Leading edge EDA solutions
Quadcept

配線前、ラツツが出てます。



【メニュー】ファイル⇒出力⇒DSNで出力

自動配線が反映されます。



【メニュー】ファイル⇒入力⇒RTEで入力

DSNファイル
(デザインファイル)



自動配線ツール



KONEKT社
自動配線ツール
『Electra Route』



Simplify Design Automation社
自動配線ツール
『SimplifyDA』



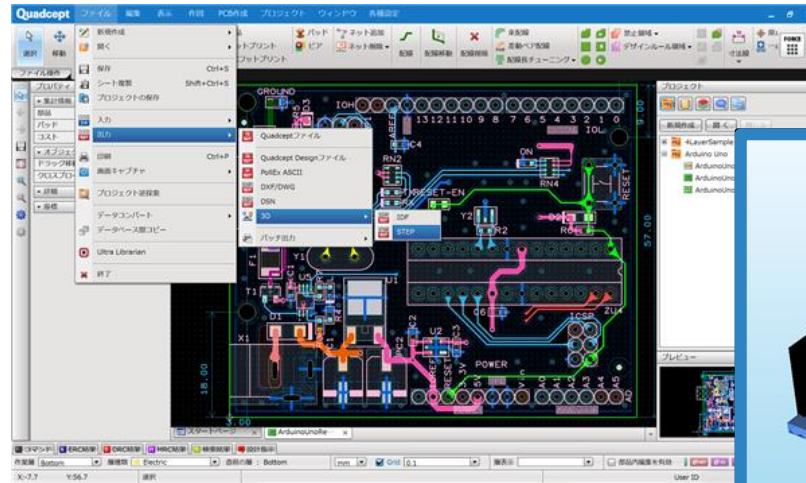
自動配線を実行



RTEファイル
(配線ファイル)

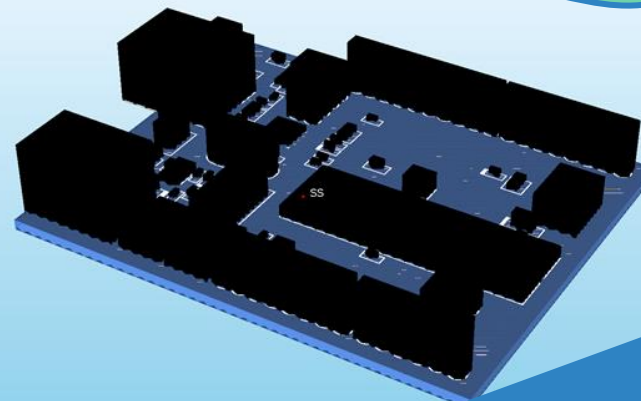
Quadcept 64bitバージョンでのSTEPファイル出力に対応しました。

- ▶ 今まで32bitバージョンでのみSTEPファイル出力が可能でしたが、64bitバージョンでも出力できるようになりました。
- ▶ PCB設計画面から直接STEP出力できるようになりました。
- ▶ 今までメモリーオーバーでエラーが出てしまい出力できなかったデータでも出力できるようになりました。



PCB設計画面から直接出力ができます。
【メニュー】ファイル → 出力 → 3D → STEP

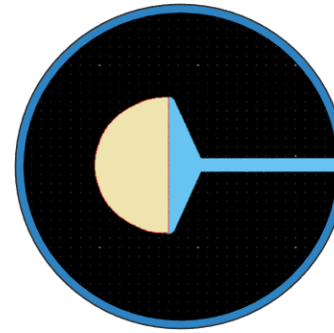
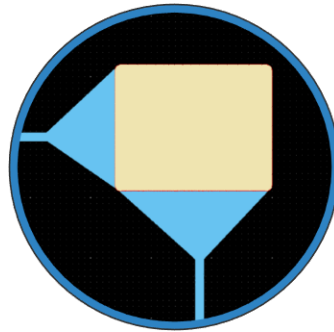
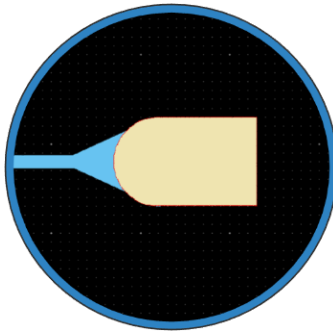
64bitバージョンでも
STEP出力が可能に！



3D (STEPデータ)

カスタマイズパッドにもティアドロップが作成されるようになりました。

- ▶ 様々なカスタマイズパッドにティアドロップが自動作成されるようになりました。



カスタマイズパッドでもティアドロップが自動作成されます！

